

や外来で接する患者さんは一人ひとり症状が異なり、さまざまな合併症があったりと多種多様な症例ばかりです。さらに治療もそれに応じて臨機応変に対応しなければならず、病気に対しての教科書的な知識は知っていて当然であり、実際の現場においてはいかに応用していくかが問われているのだと実感しています。こういった考え方はポリクリでしか学べないことだと思います。ポリクリが始まったころは右も左もわからず、その日一日を過ごすことに精一杯でしたが、最近ではポリクリの意義も考えながら実習することができ、とても充実した日々を過ごしています。先日、6年次

の先輩方が総合試験Ⅲを終えました。本学での試験をすべて終え、医学生の最終関門である国家試験に向けてラストスパートをかけ始めた先輩方の姿をみると、いよいよ僕らの番が近づいてきたなと感じています。5年次のなかにも、ポリクリの空き時間に図書館や臨床講義棟のロビーで自習したり、放課後に集まって勉強会を行う人が増えてきて学年全体の雰囲気緊張感を帯びてきています。年明けにある総合試験Ⅰをはじめとして国家試験まで5年次全員が合格するよう皆で一致団結して頑張っていきたいと思います。



4年次の近況報告

状況も変わり意識も変わり…

三上華奈 (4年次)

4年次の近況報告をすることになりました、三上です。最近、臨床科目のテストも終え、オスキーの練習も始まり、スクラブの注文も始まり、My聴診器もGETして「いよいよポリクリだ」という雰囲気が漂っている4年次です。「まだクエバン（下級生の皆さん、CBT用のテキストのことですよ。）全然進んでない!! ビデオ講座も見えない!!」といった声が飛び交っているような気がします。・・・と言いつつ勉強しているのが医学生です。だから私も皆に騙されないように本当に勉

強しないと、思っております。

4年次の後期は公衆衛生のグループ研究やACSなど、自体的に取り組み、皆の前で発表する授業が増えました。今まで余り関わらなかった同級生ともかかわる機会になり、以前より団結力が増したかな、と勝手に思っています。発表を聞いていても、「この人こんなに話すの上手いんだ!」など、今まで知らなかった個性の光を放っている人もいて面白いです。

さておき、ポリクリが間近になったので皆の意識も高まっているのも感じます。いつもギリギリでテスト勉強を開始していたと思われる方々も図書館や教室で勉強していたり、オスキーの練習でも真面目に取り組んでいます。数人で勉強会を始